

(後期)

- 各クラス3種目の割当てのローテーションで実施。  
S56年度は10回実施
- イ 野外活動
  - S56 安達太良登山2・3学年  
スキー教室 希望者2回実施
  - S57 吾妻登山 2学年
- ウ 昼休みレクリエーション活動
  - 種目 バドミントン・軟式庭球・卓球・ソフトボール
  - 昼休み35分間、正味25分程度のため計画的継続的実施はできなかったが、クラスによってはバドミントンのリーグ戦を実施したところもあった。
- エ 運動部合同練習会
  - 内容 ストレッチ体操・ジャズダンス・マット運動・各種トレーニング方法

- 4回にわたって講習会・練習会実施。

- オ 男女合同フォークダンス
  - 3年生1月の体育授業で実施
- カ VTRの活用
- ② 体育施設・用具の整備と充実
  - ア サーキットトレーニング施設の設置
  - イ ウェイトトレーニング器具の購入
  - ウ レクリエーション活動の用具の購入
- ③ 教科体育・体育的クラブ・体育的行事・運動部活動相互の関連をはかった。
  - ア 体育的行事の時期に合わせて体育授業年間計画を作成
    - 例 マラソン大会に合わせて陸上競技(長距離走・ミニ駅伝)の授業を実施。その結果、生徒のマラソン大会に対してのとり組み方が積極的にになり、タイムが短縮されてきた。

男子 (8 km)	年度	最高タイム	50分～54分以内の人数	55分以上の人数	最低タイム
	54	29分50秒	26	11	1時間4分03秒
55	30分54秒	19	2	55分55秒	
56	28分37秒	19	3	1時間5分11秒	
女子 (5 km)	年度	最高タイム	40分台の人数	41分以上の人数	最低タイム
	54	23分15秒	8	6	43分02秒
55	23分53秒	8	3	43分43秒	
56	24分04秒	3	0	40分34秒	

- イ 球技大会
  - 放課後の練習時間割当て
  - 部活動部員の参加
    - クラスのリーグシップをとる。
    - 競技力の向上
    - ルールの理解と厳守
  - 補欠に関するルールの作成
  - ソフトボールの打順は全員で組む

- ③ ま と め
- 本校の場合、自主的に活動させるためには、興味や自信を持たせることが大切であり、そのために授業部活動・各種の体育的行事を通して自信を持って活動できる者を養成し、その者にリーグシップをとらせ、活動の場を盛り上げていくことによって、一般の生徒の興味をひき出し、活動の場に参加させていくようにしむけることが重要な要素としてあげられる。

「文部省指定公開発表」

- <中学校の部>
  - A 東和町立東和中学校
  - ① 研究主題  
「自ら体力づくりに取り組む生徒の育成をめざして」  
—自然環境及び学校施設を生かした体力づくりの生活化—
  - ② 期 日 昭和57年10月6日(水)
  - ③ 講 師  
元オリンピック体操競技主将(個人・団体総合優勝)  
国立競技場理事 小野 喬先生
  - ④ 指導助言者  
福島県教育庁保健体育課 学校体育係主任指導主事兼係長 国分 一夫先生  
福島県教育庁保健体育課指導主事 浜須 義昌先生  
福島県東北教育事務所指導主事 太田 友也先生

⑤ 日 程

8 30	9 00	9 50	10 05	10 55	11 15	11 45	12 50	13 20	14 20	14 30	15 50	16 00
受	公	休	公	休	体	昼	全 体 会					
付	開	憩	開	憩	力	食	開	研	研	指	講	閉
	授		授		つ		会	究	究	導	演	会
	業		業		く		式	発	協			式
					り			表	議			